

# 町村週報

(町村の購読料は会費  
の中に含まれております)

## 3352号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 横田真二：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<https://www.zck.or.jp/>



裏磐梯、春待つ水辺 (福島県北塩原村)

### も く じ

随 情	フ	政
想 報	ォ	策
まちの思い………	ー	林地における水資源涵養量(貯留機能)の簡易評価手法
	ラ	数字で「見える化」
	ム	林野庁森林整備部 治山課 水源地治山企画班………
	コ	町村ご当地キャラじまん
	ラ	くいま私たちができること
	ム	滋賀県電玉町………
	ラ	福井県高浜町長 西嶋 久勝………
	コ	(12) (11) (6) (2)

### コラム

## ムラの教育力

福島県でユニークな集落支援の試みが続いている。平成21年から始まった「大学生と集落の協働による地域活性化事業」だ。人口減少や少子高齢化に直面する県内の過疎・中山間地域の集落を、大学生等の「外からの力」を活用して、集落の復興や活性化を図ろうとする取組で、大学のゼミや研究グループが、2年度にわたって宿泊をしながら、年に数回集落を訪れ、住民とともに調査や活性化策の提案、実現への活動を行う。

この事業が実施された集落はすでに103に及び。一方、参加した大学は県内の福島大学や会津大学などはもちろん、東北や首都圏、遠く関西や広島からもあり、全体で50を超え、それらの大学から103のグループが関わってきた。初年度は集落の課題や現況調査、次年度は活性化策の提案や実証活動、状況によつては3年目、4年目と活動に伴走しながら支援を続けるケースもある。年度末には活動中の大学ゼミ、受入れ集落、市町村と県の担当者が一堂に会し、活動報告会が行われ、最近では知事も楽しみにして参加すると聞く。

### 法政大学名誉教授

岡崎 昌之

大学ゼミからの提案で、農家民宿の開業や特産品の開発やデザインなど多様な試みが生まれている。只見町布沢地区でこの事業に関わってきた宇都宮大学のゼミでは、卒業生も含めて地区を支援する任意団体が結成され、事業に参加したOBのひとり、地域おこし協力隊を経て地元との交流施設の支配人となり、後輩たちと集落との交流支援や布沢地区の魅力発信に努めている。

「外からの力」で集落の復興を図ることが事業の目的であるが、「外から」の学生たちもこの事業から大きな力を貰っている。参加した学生たちは、集落で暮らす社会人や高齢者と対話を重ね、人口減少や高齢化の厳しい現実に直面する。他方、集落に滞在することから、濃密で親しい人間関係を体験し、農山村の暮らしの豊かさに触れる。集落に伝わる郷土料理を味わい、暮らしの達人の高齢者から集落の来歴を聞き、祭りや農作業、雪掘りを体験する。具体的な暮らしの場に身を置きながらの経験は、学生たちに大きな影響を与える。教室での学びにも勝る、ムラのもつ教育力とでも呼べるものが集落にはある。

### 写真キャプション

磐梯山の噴火により生まれた「五色沼湖沼群」。約30の色とりどりの湖沼のうち2番目に大きな弁天沼は、澄んだターコイズブルーの水面が空に映え、木々の緑や残雪をまとう磐梯山と穏やかに調和する。湖沼をめぐる全長約4kmの自然探勝路は高低差が少なく、初心者向けのトレッキングコースとしても親しまれている。

# 林地における水資源涵養量(貯留機能)の簡易評価手法

## ～見えない森林の働きを、数字で「見える化」～

林野庁 森林整備部 治山課 水源地治山企画班

### 1. はじめに

国土の三分の二を占める森林は、私たちの暮らしや産業にとって欠かせない、大切な役割を果たしてきました。森林の約4割を占める人工林の多くは、終戦直後や高度経済成長期に造成されたものであり、その約6割が50年生を超え、本格的な利用期を迎えています。特にこれらの人工林では、植えてから伐るまでの長い年月の中で、下刈りや間伐といった森林整備を着実に進めることが、森林の健全性を保ち、その多様な機能を十分に発揮させるために欠かせません。そして、近年はSDGsや地球温暖化防止等への関心の高まりから、企業が森林づくり活動に参画する事例が増加しています。こうした企業の取組が広がる中で、近年は国際的な動きを踏まえた対応も求められるようになってきています。特に、企業活動と自然資本との関係を定量的に把握・開示する動きが世界的に進み、TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)がその中核的な枠組みとして注目されています。TNFDは、企業が自然(生態系・生物多様性・水・土壌など)への依存と影響やリスク、機会を評価し、情報開示するための国

際的なガイドラインです。このように自然資本とは、森林や河川、土壌、野生生物などの「社会に価値をもたらす自然の資産」を指し、これらが私たちの暮らしや経済を支えています。森林には、二酸化炭素吸収や生物多様性保全に加えて、洪水の緩和や水質浄化など、さまざまな水源涵養機能があります。これらのうち、雨水を土壌に蓄え、時間をかけて安定的に河川へ戻す「水資源の貯留」という働きについて、客観的な数値で把握したいというニーズが高まっています。他方で、この機能は、地形、地質条件、森林土壌の発達などさまざまな条件が複雑に関わって発揮されるという性質を有します。

こうした中、既存のモデル等を参考に、簡易に計算できる評価手法を作成しました。本手法は、専門的な水文学の知識がなくても扱える仕組みとしており、気象情報と、現地を把握しやすい林分情報(樹種区分、立木密度、樹高、胸高直径)等を用いて、直接流出量と蒸発散量を推定し、結果として年間の水資源涵養量を「見える化」することができます。企業がTNFDに沿った報告に活用したり、自治体が公有林等を対象に活用することが考えられます。

### 2. 手法の概要

本手法は、林地が「どれだけ雨水を蓄え、地下水へと浸透させているか」を年単位で見える化するものです。林地に降った雨は、①速やかに河川に流れ込む直接流出量、②葉や枝に付着した雨や雪がそのまま蒸発する遮断蒸発と、樹木が根から吸い上げた水を大気へ戻す蒸散を合わせた蒸発散量(森林が消費する水)、③土壌に浸透して地下に貯えられ、安定して河川に流れ出る水資源涵養量の三つに分かれます(図1)。関係は次式で表します。

降水量 = 直接流出量 + 蒸発散量 + 水資源涵養量

したがって、求めたい水資源涵養量は、  
水資源涵養量 = 降水量 - (直接流出量 + 蒸発散量)

で求めることができます。

入力には、気象庁AMeDASの降水量、気温と、地質情報、対象林地を把握できる林分情報です。直接流出量は、日本の地質や雨の降り方を考慮した解析手法を使用しました。森林が消費する水である蒸発散量は、季節ごとの違いや、林分の状態を考慮した簡単なモデルで求めます。そして、こうして算出した直接流出量と蒸発散量を、降水量から

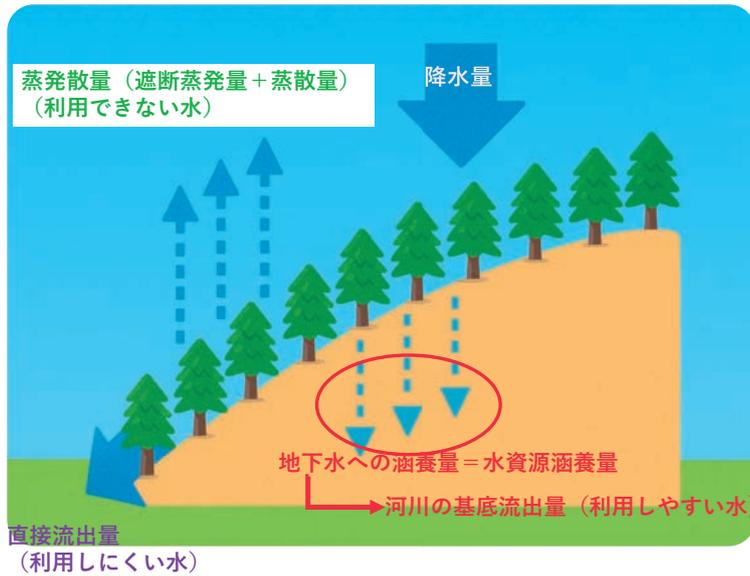
政 策

差し引くことで、その林地の水資源涵養量を求める仕組みとなっています。

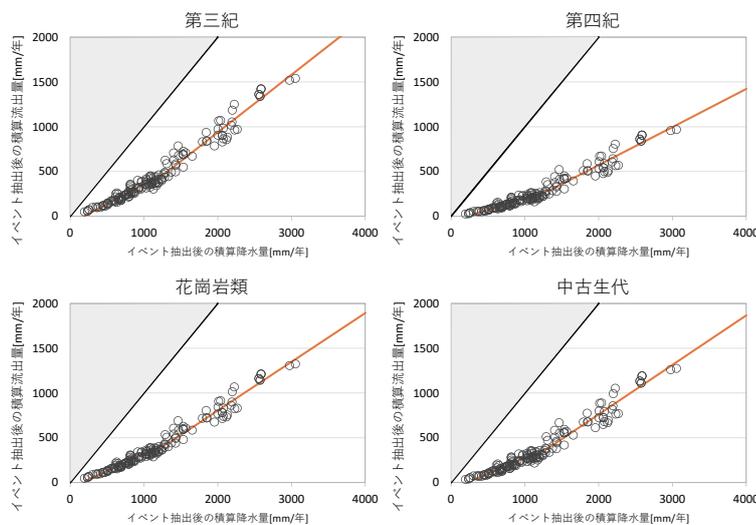
3. 直接流出量の算出

本手法では、林地に降った雨のうち、短時間で河川に流れ出る直接流出量を見積もるために、地質条件と雨の降り方から流出量を求める経験的な方法を採用しました。

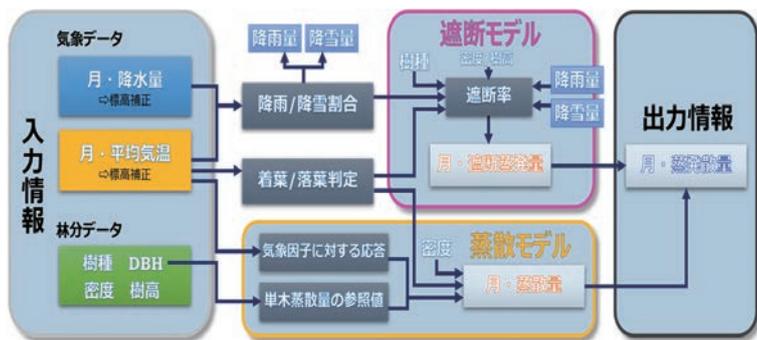
本手法では、国内の森林総合研究所や東大演習林等が長年蓄積してきた19



▲図1 直接流出量、蒸発散量、水資源涵養量



▲図2 地質区分ごとに計算式を作成



▲図3 蒸発散量の算出

流域・計165年分の観測データをもとに、第四紀層・第三紀層・中古生層・花崗岩類の四つの地質区分で、それぞれ計算式を作成しました(図-2)。

4. 蒸発散量の算出

本手法では、遮断蒸発と蒸散を合わせて蒸発散量として扱います。年間の水資源涵養量を正しく見積もるには、この蒸発散量を適切に把握することが重要です。

計算には、各月の降水量・平均気温と、現地で把握できる林分情報(樹種区分(常緑針葉樹・落葉広葉樹など)、立木密度、樹高、胸高直径)を使います。毎木調査のような精密な測定は不要で、代表的な地点のサンプルプロット調査で対応できます。

遮断蒸発は、月ごとの降水量と気温から、雨・雪の判別や、着葉期、落葉期といった季節の違いを考慮して推定します。これにより、夏季の降雨時に遮断が増える、冬季の落葉期は遮断が

減る、といった季節変化を表せます。蒸散は、国内外の観測データを元にした簡便な推定式を用い、樹種区分や立木密度、樹高等から林分の蒸散能力を見積もります(図-3)。

5. 計算ツール

本手法をご利用いただく際には、林野庁が公開しているExcel形式の計算ツールを使用します。入力欄と結果欄が明確に分かれており、専門的な



▲図4 Excel計算ツールのイメージ

操作は一切不要で、町村職員の方でも直感的に扱えるように設計されています(図-4)。

6. 運用上の留意事項

本手法は年単位の水収支を簡便に把握することを目的としており、いくつかの前提と限界を踏まえてお使いいただく必要があります。まず、本手法は、理水試験地など100ha未満の小流域で得られた観測データを用いているため、適用範囲もおおむね100ha程度までが適当です。より広い区域を扱う場合は、地形や地質の違いを考慮して100ha以下の単位に分けて計算し、結果を統合する方法が望まれます(例えば森林づくり活動区域が300haの場合、区域を三分割してください)。ただし、本手法の性質上、流域単位や都道府県単位のマクロ的な評価には不適当です。

次に、適用対象は樹冠が閉鎖した成熟した森林を想定しています。皆伐跡地や幼齢林、草地のように林床面蒸発の割合が大きい条件では、モデルの前提を満たさないため評価には適しません。地質については、第四紀層等の四区分に基づいて推定しますので、地質が入り組む場合は面積の按分などにより区分を明確にして入力してください。

さらに、本手法は簡易であることを最優先しており、間伐による土壌の変化や下層植生の発達等による影響は評価に含んでいないことなどから、間伐等施策の効果は評価対象外であることに留意が必要です。

なお、モデルの特性上、蒸発散量はやや小さめに、結果として水資源消費量は相対的に1〜2割程度大きめに見積もられる可能性があるため、公表の際はこの傾向を注記として添えていただく誤解を避けられます。また、本手法は洪水ピークの解析や水害予測のような短時間の現象を評価するものではありません。

7. 活用と展望

本手法は、森林の水資源消費機能を数値で示すための使いやすいツールです。自治体関係者におかれましては、間伐等の森林整備が行われている林分において、水資源消費量を評価することで、事業の効果を住民の皆さまに説明しやすくなります。

また、本手法は企業による森林づくり活動の促進にも資するものです。企業側は、水資源への貢献を客観的な数値で示しやすくなり、自治体と企業が同じ指標を用いて議論できるようにな

政 策

ることで、協定締結や共同事業の計画づくりが進めやすくなります。こうした取組が広がると、企業の職員や家族、ボランティアが定期的に地域を訪れる機会が増え、山村地域の関係人口の増加や交流の活性化が期待されます。結果として、森林整備の担い手づくりや地域内での消費・交流の拡大が見込まれます。

森林は地域の水を支える基盤です。本手法により水資源涵養量を数字で示していくことは、例えば森林環境譲与税等を活用して森林整備を行っている林地における水源涵養機能(貯留機能)の見える化、住民の理解促進、関係機関・企業との調整にも役立つと考えられます。企業やNPOとの協働の場面でも本手法を共通言語として活用することで、森林整備と地域振興を同時に進める枠組みづくりが進みます。こうした取組が着実に広がり、山村地域に新たな交流や投資が生まれ、関係人口の増加とともに地域の活性化へつながっていくことを期待しています。

【お問い合わせ先】

林野庁 森林整備部 治山課 水源地  
治山企画班

電話 03-6744-2300

メール rinya-chisan-suigen@maff.go.jp

客室のバリエーション	<b>SINGLE ROOM</b> シングル 119室	<b>DOUBLE ROOM</b> ダブル 12室	<b>TWIN ROOM</b> ツイン 18室
			
	和室もございますのでお問い合わせください。 ※市町村職員共済組合等の宿泊施設利用助成券がご利用いただけます。		



- 全国町村会館へのアクセス
- ・有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分
  - ・丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩8分
  - ・タクシー東京駅から約7分

ご予約・お問い合わせ **TEL.03(3581)0471**  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号  
Webサイト URL <https://www.zck.or.jp/kaikan/>

ご活用ください！町村専用ページ「町村.com」

<https://www.zck.or.jp/choson/>

全国町村会では、全国の町村との連携を密にし、町村長と町村職員の皆さまの情報収集の利便性を向上させるため、町村専用ページ「町村.com」を開設しています。

「町村.com」では、全国町村会の活動状況や中央省庁等の政策情報を随時ご提供し、町村関係者にとって役立つ Web サイトとなることをめざし、これからも充実を図ってまいります。ご感想・ご意見は、下記のメールアドレスにお寄せください。



「町村.com」は、町村関係者の方だけがご利用いただける専用ページです。ログイン時のユーザー名とパスワードは、各町村にお知らせ(平成18年9月27日付)しております。お問い合わせは、全国町村会広報部(kouhou@zck.or.jp)までお願いいたします。

詳しくは Web へ



お問い合わせはこちら





▲役場周辺と圃場整備の状況

## 滋賀県 竜王町

りゅうおう ちやう

こどもたちの未来へ贈る  
いま私たちができること

### 1 竜王町の概要

竜王町は滋賀県の東南部蒲生平野に位置し、東に雪野山、西に鏡山に囲まれ、この山々は竜神が祀られていたことから「竜王山」と呼ばれ、町名の由来にもなっています。

数多くの古墳が残り、万葉の時代に蒲生野（当町を含む一帯の平野）を舞台に大海人皇子と額田王が相聞歌を詠んだとされており、また室町時代には源義経が東山道の宿場であった鏡の宿（現在の竜王町鏡）に宿泊し元服したと伝えられるなど歴史深いまちです。

面積は44・55km<sup>2</sup>であり、東西7・6km南北8・5kmのコンパクトなまちです。さらに総面積の約35%は森林で、約30%は農地であり、宅地は約15%で

ありますので本当にコンパクトなまちです。

### 2 時代にあった土地利用

この総面積の約30%を占める農地からは良質な近江米が生産され、他にも、近江牛発祥の地として畜産業も盛んです。また、近年ではいちごをはじめ梨、ぶどうなどの果樹狩りが楽しめるなど観光果樹園にも力を入れています。農業を基幹産業とし、国や県の支援を受けながら圃場整備や農業用水利施設を整備してきました。このため、町内の農地の大部分は農業振興地域の農用地に指定されていることから、市街化区域は総面積のうち約8%と大変少ない面積です。その用途も大規模自動車工場や工業団地等の工業用地やアウト



フォーラム

レットモールの商業地が大部分を占めております。また、町内には鉄道駅がないため、駅を中心とした市街地を形成できなかったことも市街化区域が少ない要因の一つです。

では、なぜ、このような農業のまちにアウトレットモールや大規模自動車工場・工業団地が立地いただけなのかというと、その理由は本町が自動車交通の要衝となっているからです。町内を東西方向に名神高速道路が横断することとなり、これからの時代を見据えて町南西部に名神高速道路竜王ICを誘致し整備いただきました。また、国道8号と国道477号も町内をクロスス



▲東西方向に横断する名神高速道路



▲道の駅アグリパーク竜王

ております。

これらの交通アクセスの良さを生かして観光にも力を入れており、国道8号には道の駅竜王かがみの里を、国道477号には道の駅アグリパーク竜王の2つの道の駅を整備し、多くの観光客にお越しいただき、新鮮な農作物の直売だけでなく、農業体験、ハイキング、歴史探訪を楽しんでいただいております。

このように竜王町は時代に合った土地利用を行ってきた結果、農商工観光の魅力が揃ったまちとなっています。

### 3 人口、年齢構成の変化

総人口は昭和50年代に1万人を超え、平成7年（1995年）の13、650人をピークに横ばいから微減傾向が続き、現在は11、100人程度まで減少しております。年齢構成においても少子高齢化が進んでいます。

町内には32の自治会がありますが、人口増加の時代は草刈りや溝掃除等の地域の環境整備だけでなく、夏まつりや文化祭等の自治会の活動も盛んでありましたが、人口の減少と同時に地域住民のライフスタイルの変化や価値観の多様化も重なり、自治会活動の担い



▲河川の草刈り

手が減少し、かつてのような活動が困難になってきました。

### 4 人は減っていくの…

上述のとおり、本町は時代にあわせ、まちづくりを進めてきましたが、少子高齢化による人口減少という大きな課題にぶつかりました。また、同時に小学校をはじめとする教育施設の老朽化対応も必要となりました。人は減っていくのに、小学校はなんとかしなければいけない。どちらかの課題の延長線上にもう一方の課題があるのならばこれまでの経験から比較的解決方法も考えやすいが、どちらかの課題の反対にもう一方の課題があるようなもので…。

### 5 マイカーが便利！でも、公共交通は…

課題は他にもあります。

当町には鉄道駅がありません。当たり前ですが駅前商店街といったものもありません。また10年程前までは町内にスーパーもありませんでした。このため、医療も買い物も生活に必要な施設は近隣の市町に頼っており、町民の移動ニーズは専ら町外の駅やスーパーや病院でありました。ただし、行きたいスーパーも病院も人によって違いますので、主な移動方法は自家用車です。

フォーラム

自宅敷地は広いので、自家用車を運転免許保有者の数に軽トラを加えた台数こそへ移動しています。駐車場代もかかりませんし、交通量も少なく運転へのストレスもなく、渋滞もほぼないため移動時間も読めますので、マイカーさえあれば非常に便利です。このため、公共交通の利用は少なく、公共交通のメインの利用者は高校生です。

町内には高校もありませんので、子どもたちは高校生になると必ず町外への移動が必要になります。高校生は運転免許を持っていません。町内でも比較的駅や高校に近い生徒は自転車通勤しますが、そうでない生徒は、保護者の送迎や路線バスを利用します。路線バスは5路線ありますが主に最寄り駅へ向かいます。利用者は町内の高校生の他にアウトレットモールのお客様や町内の立地する企業の従業員の方です。これらの利用者によって、路線バスの運転手不足に加えて燃料費や人件費の高騰により経費が上昇する一方で少子高齢化による利用者数の減少により運賃収入が減少し、これまでどおりの運行が難しくなっています。

10年程前に町内にスーパーを誘致することができました。その敷地内に医

療機関やドラッグストアも立地いただき、生活に必要な施設を町外に頼る必要が少なくなってきたと同時に「ここへの移動ニーズが高まり、ようやく町内移動のための公共交通が求められるようになってきました。

6 人口を増やそうにも住宅地が…ない

課題はまだあります。本町にはアウトレットモールや大規模自動車工場・工業団地が立地し、昼間人口比率は140%を超えており関係人口は非常に多いです。これらの関係人口を定住人口に転換しようと誰



▲滋賀竜王工業団地



▲アウトレットモール

もが考えますが、受け入れるための住宅地がありません。町内の大部分は市街化調整区域でかつ農業振興地域の農用地であるため分譲住宅や集合住宅の建設ができません。このため、まずは市街化区域編入も検討しますが、基準となる面積を満たせません。次に地区計画の策定も検討しますが、農業振興地域農用地の除外が見込めませんので途方に暮れておりました。

7 全部一緒にやればいい!! 「竜王町コンパクトシティ化構想」

課題山積な状態で、何から手をつけ

ていけばいいのが悩んでいました。何か1つから始めようとするから悩むのであれば、すべてに手をつけたい。そこで打ち出したのが「竜王町コンパクトシティ化構想」です。この構想の柱は3つです。①利便性が高く多様な交流を育む中心核整備②地域コミュニティの維持・活性化③中心核と地域コミュニティのネットワークです。

①の中心核整備では、老朽化した小学校を移転新築し、その周辺に給食センターや図書館等の教育施設を集約しつつ、中心核エリアを市街化区域とすることで、小学校の跡地等での住宅地整備を可能とし、教育施設の老朽化対策と住宅地不足に対応します。

②の地域コミュニティの維持は、住民生活の自助共助のために必要なことはもとより、まちの土地利用の多くを占める農地や山河は既存集落の住民により維持されてきており、町土の管理の観点からも必要かつ重要です。現在は、自治会の負担軽減を図るため、行政から自治会への依頼事の見直しを進めながら、自治会内での自発的な見直しを支援しています。

③のネットワーク整備では、町内移動のニーズに対応するため、中心核と各集落を結ぶAIオンデマンドタクシー(チョイソコリゅうおつ)の運行を開始しました。運行当初は、高齢者

フォーラム



▲竜王町コンパクトシティ化構想構想図



▲チヨイソコリゆうおう

の利用が多かったのですが、サービスを向上することで学生やこどもの利用も増えてきております。路線バスについても、通学定期利用促進プロジェクトを展開し、通学定期の半額補助と終バス後に利用できる夜間特別便(相乗りタクシー)の運行を行い子育て支援を兼ねた利用促進策を実施しています。これにより、通学定期の利用者が4倍近く増えました。さらには、IC OCAとマイナンバーを連携させ、便利でお得に利用できる環境を整備し、定期利用者以外の利用促進を図りたいと考えています。

これら3つの柱が好循環すること

国はインセンティブを講じ、時間をかけながら住民や民間事業者等と協力して居住や都市機能の誘導をめざすとされていますが、いま住んでいただいているところに、人が住まなくなれば、

**8 山河や農地を守る人々を大事に**

で、中心核で新たな住民を迎えつつ、既存集落での若者の転出を防ぎ人口減少を抑えながら、新たな住民と既存の住民との交流の中でこれまでとは違う価値が創造され、女性や若者から選ばれるまち・住みやすい持続可能なまちとなることをめざしています。



▲豊かに実る稲穂

フォーラム

山河や農地は誰が管理するのでしょうか。日本全体で人口が減少しているため、土地の管理にもメリハリをつけるなければならないことは理解できますが、適切に管理されない山河や農地は、あつという間に荒廃し、自然災害をもたらすリスクとなります。山や河川で起きる自然災害は広範囲かつ長期間に及び、都会に住む人々にも直接的また間接的に影響を及ぼします。また、都会の住民の食糧を支えているのは、都会以外に住む人々の努力です。本町では、山河や農地を守る人々に尊敬と感謝の念を抱くとともに今後本町を創っていくパートナーとして大事にしていきたいと思っております。

9 心弾む 新時代への  
チャレンジ！

第八次竜王町総合計画において10年後のあるべき姿を「若者も暮らしたい希望かなえる 輝竜の郷」心弾む新時代へのチャレンジ」としました。「竜王町コンパクトシティ化構想」を最大の推進力としながら、各施策を推し進め、10年後のあるべき姿へ向かっています。この姿が実現すれば、若者をはじめ前向きな思いを持つ竜王町に関わるすべての人が、仕事や子育て、趣味活動などの暮らしの中にある、出産・子育て・学び・仕事・結婚・健康



▲新竜王小学校(令和8年度開校)

長寿などのそれぞれの「幸せ」を描くことができ、このことで「住み続けた」「と思えるまちになると確信しています。

ただし、それぞれの描く「幸せ」は誰かにかねてもらおうのではなく、自身の努力はもちろんのこと互いの支え合いやまちのしくみを組み合わせる実現させるものだと考えています。

自然や田園に囲まれた環境の中で、誰もがきらりと輝くことができるまちをこどもたちの未来に贈るため、今我々ができることに精一杯取り組んでいます。

竜王町未来創造課

# 車両共済(保険)のご案内

## (一般自動車保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

### 町村生協の自動車共済にご加入の皆さまなら!

- 無事故による割引で新規から **44%(保険料)割引**
  - ・ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。
- 集団扱年一括払による割引でさらに **5%割引**
  - ・保険料分割払(12回)も選択可能です。
  - ・保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払の5%割引の適用はありません。

このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

### ●お見積りのご請求・お申込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

**株式会社 千里(取扱代理店)**  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内  
●ホームページアドレス <https://www.chisato-ag.co.jp/>

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください  
(受付時間: 祝日、年末年始を除く月~金 午前9時30分~午後5時)  
**TEL 0120-731-087**  
**FAX 03-3519-7325**

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン株式会社とが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

〈車両保険引受保険会社〉損害保険ジャパン株式会社

# 町村

# ご当地キャラじまん

Vol.187

特産品だけじゃない!

文化・歴史を身にまとして観光大使!!

ご当地自慢の美味しいものや伝統行事を身にまとい、体を張ってPRしているご当地キャラたちを紹介するコーナーです。

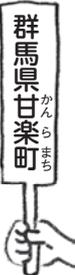


奈良県高取町  
和歌山県広川町

## 甘楽町イメージキャラクター かんらちゃん



2月1日生まれ。元気で活発な男の子。とにかく甘楽町が大好きで、好きな食べものは「道の駅 甘楽」の名物料理「桃太郎ごはん」。



群馬県西南部に位置する甘楽町は、織田宗家ゆかりの大名庭園「楽山園」で知られる町です。甘楽町の魅力や地域の特性等を効果的かつ積極的に発信するため、2013年5月からイメージキャラクターを公募したところ、全国から564点もの応募がありました。厳正な審査の結果、「かんらちゃん」が誕生し、同年11月3日開催の「甘楽町産業文化祭」で発表されました。「楽山園」をイメージした緑の鎧兜に、町を流れる世界かんがい施設遺産「雄川堰」と町の花「ソメイヨシノ」がデザインされ、胸には町章が描かれている「かんらちゃん」。2014年2月1日に開催された「甘楽町発足55周年記念式典」でデビューを飾り、特別住民票も交付され、以降、「城下町小幡さくら祭り武者行列」や「甘楽町花火大会」等、町内外の各種イベントで町のPR活動に携わっています。

## 高取町公式マスコットキャラクター たかとりん



5月18日生まれ。高取城跡近くの木の上で産まれた鷹の子。人懐っこくて甘えん坊。好奇心旺盛。視力がよく薬草探しが得意。趣味は高取町の空のお散歩とお気に入りスポットの紹介。春の楽しみは、壘阪寺の桜大仏。  
\*薬となる動植物を採集する宮廷行事



高取町は「くすりの町」として知られ、その歴史は飛鳥時代に推古天皇が行った「葉狩り\*」にまで遡ります。また、大河ドラマ「豊臣兄弟」の豊臣秀長ゆかりの地「高取城」でも有名です。「たかとりん」は、公募により国内外から提出された587作品から選ばれ、2025年5月に高取町初の公式マスコットキャラクターとして誕生しました。町名をもじった「鷹」をモチーフに、頭には「高取城跡の石垣」「城跡近くにある謎の猿石」「葉袋」「町の木・カエデ」「町の花・ツツジ」を飾り、「町章」をデザインした洋服を着ています。同年11月23日の「第37回たかとり城まつり」で着るみがお披露目されました。町のイベント等に参加するほか、町公式インスタグラムでは、時々語尾に「とりん」とつける話し言葉でお気に入りスポットの紹介等も担っています。

## 広川町PRキャラクター いなむー



11月5日(世界津波の日)生まれ。のんびりやさんで、趣味は散歩。特に「広村堤防」の上を歩くのが好き。チャームポイントは、未来への希望の光として人々とその行く先を優しく照らす頭頂部の「稲むらの火」。



紀伊水道に面し、「有田みかん」の産地としても有名な広川町には、日本の防災遺産に関わるキャラクターがいます。「稲むらの火\*」のもととなった広川町の防災文化と、津波災害からの復興のストーリーである「百世の安堵」が日本遺産に認定されたことを受け、町の日本遺産PRキャラクターとして誕生した「いなむー」です。「稲むらの火」は、1854年に発生した大地震にもなう大津波の際に、町出身の濱口梧陵が稲むらに火をつけて住人の避難を促したという故事。そのため「いなむー」は、稲むらをもモチーフに、昔の災害避難時の服装(名札、防災頭巾、もんぺ、草履)を身につけています。2025年4月には正式に町公式キャラクターとなり、同年11月の「ふるさとまつり」で着るみがお披露目されました。以降、町内外の各種イベントで活躍しています。

\*稲むらの火(1957年)  
NHK大河ドラマ



随 想

福井県高浜町長、西嶋です。  
 昨年8月31日に、前町長の死去に伴う高浜町長選挙を経て、町長に就任いたしました。経歴は、舞鶴市役所職員として38年、その後高浜町副町長として5年勤務し、根っからの行政マンです。

紙面を頂きましたので、高浜町長としての町の紹介と、私の思いを綴ります。

高浜町は福井県の西の端にあり、

の礎を築いてこられた先人の努力に

は、改めて深い敬意を表したいと思

います。その歩みの上に「今」があ

り、次の時代へつないでいく責任が、

私であり、今の時代を生きる私たち

に託されている重みを感じます。

高浜町の大きな魅力は、国際環境

認証「ブルーブラック」をアジアで

一番早く取得した青く澄んだ海と、

若狭富士 霊峰・青葉山に象徴され

る雄大な自然であります。アジアで

の町であるからこそ、暮らしの質を

高め、地域が輝くまちになる事が必

要であると強く考えています。

どこのまちでも人口減少は最大の

構造変化であります。対策は掲げま

すが、未来は町民の皆さまの心の中

にあると感じています。自然と向き

合い、エネルギーと向き合い、そし

て人と向き合いながら、真摯に歩ん

でいきたいと思っています。

七十年の歴史を受け継ぎ、その先



# まちの思い

福井県高浜町長 たかはま

西嶋 にしじま

久勝 ひさかつ

隣は京都府舞鶴市です。若狭湾に面

する、面積約七十二平方キロメー

トル、人口およそ9、400人の町で

す。海と山が近接する地形の中で、

自然の恵みとともに人々の暮らしが

営まれてきたまちで、私は今日まで

65年間、この地で生活してきました。

本町は昨年、町制施行七十周年と

いう節目を迎えました。戦後の復興

期から高度成長期、そして人口減少

社会へと時代が移り変わる中で、町

一番美しい海であると思っています

し、自然景観に加え、歴史と文化が

重なり合うこの町は、規模は小さく

とも、誇るべき地域資源に恵まれて

います。

一方で、高浜町は半世紀にわたり

日本のエネルギー政策を支えてきた

原子力立地地域です。町内には高浜

原子力発電所四基が稼働し、現在、

日本で最も多くの発電を行う自治体

となっています。私は、原子力立地

の未来に責任を持つ。その覚悟を町

民の皆さんと共有しながら、高浜町

らしい持続可能なまちづくりを進め

ていく決意であります。

このように強く思っていますが、

思うように行かないのが世の常であ

ります。

この原稿を書いている最中にも、

後ろから孫に頭をたたかれたり、

シールを顔に貼られるなど、家庭で

の営みは社会の縮図であり、私に



和田ビーチ

とっては修行でもあります。時には  
 早朝から座禅を組んで心を整え、農  
 作業を通じて自然との交わりと収穫  
 に感謝し、ストレスなきメイヤーとし  
 て自分なりに精進を重ねております。  
 全国の町村長の皆さまも、同じよ  
 うな思いを感じておられるのではと  
 も存じます。

今後とも、皆さまのご指導を、よ  
 ろしくお願い申し上げます。